
寄生虫検査

寄生虫検査(学校保健分野)の実施成績

東京都予防医学協会検査研究センター・地域保健部

実施概況

2003(平成14)年度は、ぎょう虫卵検査のみを71,576件(寄生率0.42%)実施した。

東京都予防医学協会の前身である東京寄生虫予防協会では、糞便検査を主体とする検査機関として、1949(昭和24)年に発足した。それ以来、1969年頃までは糞便検査を年間93~55万件実施してきた。その後、1959年からは、ぎょう虫卵検査を糞便検査と併行して実施するようになったが、検査数は1964年までは糞便検査の割合が圧倒的に多かった。しかし、1970年に糞便検査が629,082件、ぎょう虫卵検査が706,480件と初めて逆転してからは、ぎょう虫卵検査が多くなった。

そして、1973年には、学校保健法が改正され、翌1974年から中学校以上の寄生虫検査(ことに糞便検査)実施の義務づけが省略されたこともあって、検査数が大きく減少した。さらに、1994年には、再び学校保健法が改正されて、ぎょう虫卵検査が小学校低学年のみの実施で良いということになったことと、近年の児童生徒数の減少とあいまって、ここ数年は検査数が減り続け、糞便検査とぎょう虫卵検査を合計して年間18~11万件を実施していたものが、2003年度はぎょう虫卵検査71,576件のみの実施となり、糞便検査は全く実施しなかった(表1 P64参照)。

表2には、ぎょう虫卵検査の対象別、地区別の総合成績を示した。例年と同様に、小学校が寄生率0.46%であり、幼稚園・保育園の0.26%に比べて高

い。また、都内の区部と多摩、島しょ地区別では、島しょ地区が0.61%と最も高く、区部の0.44%、多摩地区の0.37%の順であった。

幼稚園・保育園の地区別成績を表3に示した。都内26地区のうち、14地区で寄生率が0%だったのに対し、北区では2.08%、港区0.92%、千代田区0.84%であり、地区により寄生率に大きな差がみられた。

小学校の地区別成績を表4に示した。都内19地区のうち、6地区で寄生率が0%であったが、その一方で、檜原村では1.54%、八丈町0.93%、板橋区0.74%などで寄生率が高かった。

表5には、幼稚園・保育園、小学校を含めた地区別成績を示した。都内35地区のうち、14地区で寄生率が0%であった。しかし、北区の2.08%、檜原村1.54%、港区0.92%、板橋区0.73%などで寄生率

表2 ぎょう虫卵検査成績

		(2003年度)				
区分	地区名	学校数	被検査者数	保卵者数	寄生率%	
幼稚園 保育園	特別区	112	11,967	35	0.29	
	三多摩	25	3,097	5	0.16	
	島しょ	6	224	0	0.00	
	計	143	15,288	40	0.26	
小学校	特別区	162	40,134	192	0.48	
	三多摩	47	15,431	63	0.41	
	島しょ	8	595	5	0.84	
	計	217	56,160	260	0.46	
養護学校 特殊学校	特別区	3	78	0	0.00	
	三多摩	1	50	0	0.00	
	計	4	128	0	0.00	
合計	特別区	277	52,179	227	0.44	
	三多摩	73	18,578	68	0.37	
	島しょ	14	819	5	0.61	
	計	364	71,576	300	0.42	

が高かった。

表1には、1949年度から2002年度までの糞便検査とぎょう虫検査の年度別検査件数と寄生率、年度

表3 幼稚園・保育園地区別ぎょう虫卵検査成績

(2003年度)				
地区	学校数	検査者数	保卵者数	保卵率%
千代田区	2	119	1	0.84
港区	7	764	7	0.92
新宿区	6	551	0	0.00
文京区	16	1,136	3	0.26
台東区	25	2,643	2	0.08
墨田区	1	254	0	0.00
江東区	5	336	1	0.30
目黒区	5	360	1	0.28
大田区	13	997	0	0.00
世田谷区	9	1,225	7	0.57
中野区	1	211	0	0.00
杉並区	4	583	1	0.17
豊島区	2	247	0	0.00
北区	4	192	4	2.08
板橋区	2	184	0	0.00
足立区	3	621	0	0.00
江戸川区	7	1,544	8	0.52
区部計	112	11,967	35	0.29
八王子市	2	236	0	0.00
府中市	4	107	0	0.00
調布市	1	58	0	0.00
国分寺市	1	300	0	0.00
国立市	1	79	0	0.00
稲城市	3	1,006	3	0.30
羽村市	1	403	0	0.00
日の出町	12	908	2	0.22
多摩計	25	3,097	5	0.16
八丈町	6	224	0	0.00
島しょ計	6	224	0	0.00
合計	143	15,288	40	0.26

表4 小学校地区別ぎょう虫卵検査成績

(2003年度)				
地区	学校数	検査者数	保卵者数	保卵率%
千代田区	1	491	1	0.20
文京区	22	6,871	30	0.44
台東区	20	3,146	15	0.48
目黒区	23	4,466	13	0.29
大田区	33	11,201	47	0.42
世田谷区	2	708	0	0.00
渋谷区	1	345	0	0.00
杉並区	2	704	0	0.00
豊島区	2	696	1	0.14
板橋区	56	11,506	85	0.74
区部計	162	40,134	192	0.48
武蔵野市	1	340	1	0.29
昭島市	1	150	0	0.00
調布市	21	9,546	47	0.49
小平市	1	667	0	0.00
東大和市	10	2,276	2	0.09
あきる野市	12	2,322	11	0.47
檜原村	1	130	2	1.54
多摩計	47	15,431	63	0.41
新島	3	57	0	0.00
八丈	5	538	5	0.93
島しょ計	8	595	5	0.84
合計	217	56,160	260	0.46

別の合計数を示した。糞便とぎょう虫検査の合計数は、1962年に100万件を初めて突破し、以後1969年に1,347,414件でピークに達した。その後も、1972年までは100万件台を維持していたが、児童生徒数の減少とともに検査件数も減り始め、1973年には90万件となり、その後も年々減少し続け、1982年は45万件、1986年には40万件以下に、1995年には20万件、2002年には10万件を下回った。

そして、本年度はぎょう虫卵検査71,576件のみの実施であった。寄生虫検査を最も多く実施していたのは1969年で、糞便とぎょう虫卵検査を合わせて1,347,414件実施していたが、その当時の実施数に比べ、実に53%にまで減少した。なお、ぎょう虫卵検査は、1971年が759,557件で最も多かったが、それに比べ、本年度は9.4%にまで減少した。また、

表5 地区別ぎょう虫卵検査成績

(2003年度)				
地区	学校数	検査者数	保卵者数	保卵率%
千代田区	3	610	2	0.33
港区	7	764	7	0.92
新宿区	6	551	0	0.00
文京区	40	8,056	33	0.41
台東区	45	5,789	17	0.29
墨田区	1	254	0	0.00
江東区	5	336	1	0.30
目黒区	28	4,826	14	0.29
大田区	46	12,198	47	0.39
世田谷区	11	1,933	7	0.36
渋谷区	1	345	0	0.00
中野区	1	211	0	0.00
杉並区	6	1,287	1	0.08
豊島区	4	943	1	0.11
北区	4	192	4	2.08
板橋区	59	11,719	85	0.73
足立区	3	621	0	0.00
江戸川区	7	1,544	8	0.52
区部計	277	52,179	227	0.44
八王子市	2	236	0	0.00
武蔵野市	1	340	1	0.29
府中市	4	107	0	0.00
昭島市	1	150	0	0.00
調布市	22	9,604	47	0.49
町田市	1	50	0	0.00
小平市	1	667	0	0.00
国分寺市	1	300	0	0.00
国立市	1	79	0	0.00
東大和市	10	2,276	2	0.09
稲城市	3	1,006	3	0.30
羽村市	1	403	0	0.00
日の出町	12	908	2	0.22
檜原村	1	130	2	1.54
あきる野市	12	2,322	11	0.47
多摩計	73	18,578	68	0.37
新島	3	57	0	0.00
八丈	11	762	5	0.66
島しょ計	14	819	5	0.61
合計	364	71,576	300	0.42

寄生率も1999年から1%を下回るようになり、本年度は0.42%と、過去最低の寄生率となっている。

卵別の寄生率の推移を示したが、年度により発見虫卵と寄生率には大きな変化が見られる。

図1には、1975年から2003年までの年度別・虫

表1 Annual Number of Examined (年次別検査件数)
by Tokyo Health Service Association

(1949～2003年度)

Year (年)	Number (実施件数)				Total (合計)
	Stool Smear Examination (糞便検査)	Positive rate % (寄生率)	Scotch Tape Technic (ピンテープ法)	Positive rate % (寄生率)	
1949	101,875	72.0 %		%	101,875
1950 (昭和25年)	282,100	61.4			282,100
1951	428,055	50.4			428,055
1952	428,071	41.5			428,071
1953	470,703	32.0			470,703
1954	506,713	22.3			506,713
1955 (昭和30年)	491,039	15.3	302	28.5	491,341
1956	514,081	12.9	1,587	35.3	515,668
1957	557,384	14.4			557,384
1958	697,378	11.6			697,378
1959	735,510	8.9	21,247	25.6	756,757
1960 (昭和35年)	867,087	6.8	34,243	22.3	901,330
1961	927,762	6.3	70,971	21.7	998,733
1962	931,302	4.5	112,556	17.0	1,046,093
1963	783,375	3.8	277,739	16.3	1,077,822
1964	812,016	2.8	397,560	13.6	1,209,576
1965 (昭和40年)	784,412	1.9	445,109	9.6	1,229,521
1966	751,739	1.7	518,585	7.6	1,270,324
1967	717,336	0.7	549,662	6.6	1,279,375
1968	687,148	0.7	581,316	7.7	1,268,462
1969	683,067	0.59	664,347	6.5	1,347,414
1970 (昭和45年)	629,082	0.42	706,480	5.2	1,335,562
1971	546,521	0.44	759,557	4.96	1,306,078
1972	392,748	0.26	746,203	4.13	1,138,951
1973	238,173	0.19	656,517	3.68	894,690
1974	80,046	0.28	558,560	3.36	638,606
1975 (昭和50年)	64,730	0.30	461,791	3.39	526,521
1976	53,957	0.51	451,184	3.38	505,141
1977	52,820	0.59	452,227	2.98	505,047
1978	52,534	0.16	463,692	3.07	516,226
1979	52,312	0.10	488,099	3.05	540,411
1980 (昭和55年)	47,373	0.13	480,701	3.20	528,074
1981	47,498	0.15	473,859	3.24	521,357
1982	34,414	0.08	418,115	2.89	452,529
1983	40,454	0.10	432,502	2.60	472,956
1984	37,986	0.08	414,924	2.32	452,910
1985 (昭和60年)	31,431	0.09	385,718	2.02	417,149
1986	22,073	0.07	369,160	2.39	391,233
1987	19,802	0.05	350,179	2.40	369,981
1988	17,677	0.02	332,496	2.09	350,173
1989	17,574	0.02	322,507	2.17	340,081
1990	15,889	0.09	297,308	2.07	313,197
1991	11,858	0.03	266,181	2.18	278,039
1992	12,305	0.11	253,324	2.16	265,629
1993 (平成5年)	9,767	0.08	242,075	1.93	251,842
1994	9,626	0.07	221,650	2.03	231,276
1995	2,485	0.08	180,739	2.06	183,224
1996	1,932	0.05	177,274	1.57	179,206
1997	1,937	0.41	150,673	1.26	152,610
1998 (平成10年)	1,957	0.20	144,269	1.15	146,226
1999	2,052	0.05	140,851	0.93	142,903
2000	2,110	0.09	138,585	0.79	140,695
2001	672	0.00	112,364	0.62	113,036
2002	0		91,861	0.57	91,861
2003	0		71,576	0.42	71,576

図1 寄生虫卵別の検出率の年次推移
(1975~2003年度)

